

# WEEKLY

# 一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

## Rotary



ロータリーは機会の扉を開く



### The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日  
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858

## ロータリーは機会の扉を開く

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:[rc138@lily.ocn.ne.jp](mailto:rc138@lily.ocn.ne.jp)

## 2020年11月12日 第3443回例会

会 長 光 寄 賢 一 副 幹 事 鈴木 洋 志  
幹 事 杉 倉 勲 副 会 長 松 田 暁 昌  
会長エレクト 梯 國 彦 会報委員長 加 藤 寛 之

プログラム  
イニシエーションスピーチ  
島田 典明君  
テーマ「自己紹介」  
松岡 泰憲君  
テーマ「自己紹介」

ロータリーソング「我等の生業」  
第3442回例会の記録  
2020年11月5日(木)

**会長挨拶** 光寄賢一  
今月はロータリー財団月間ということで、地区ロータリー財団委員長朱宮新治さんに卓話をお願いしました。朱宮さん、よろしくお願ひいたします。また、米山奨学生の崔小萍さんがお客様としておいでになっています。さて、10月23日には職業奉仕委員会の山田委員長のお骨折りでロータリアンを多数お出しになっているご縁もありカリモク家具さんのショールームと椅子工場の見学をさせて頂き、国家戦略特区県内第一号の SUNSET WALKER HILL さんでの食事をお楽しみいただきました。山田委員長はじめお手伝い頂いた皆さん、そして、お忙しい中お時間を頂いたカリモク家具の加藤知成相談役、加藤英樹会長にお礼申し上げます。なお、参加者の皆さんに加藤相談役から、「今日の見学で何か気が付いた問題点を指摘してくれるのが職業奉仕なのでよろしく」とのお言葉を頂きました。お気づきの点がありましたら幹事にお伝えください。

**お城、あれこれ (12)**  
「岐阜城の天主 その3」

岐阜城シリーズは一応ピリオド

信長は高い所に住むのが好きな人です。平城の那古野城、清須城から平山城の小牧山城、山城の岐阜城、最後に平山城の安土城へ居城を移しました。よく言われる山城から平城への流れに逆行している。金華山山頂の建物に長男、次男達と一緒に住み、用事が出来ると高い山の上から馬で下りてきて途中の山道や山麓の御殿で面会していた。修道士フロイスの記録では、金華山山頂の信長の住まいに「ごくわずかの者しか上ることが許されていないのに」招待されロレンソと二人で柴田勝家の案内で山上の城に登った。

### 次回の予定

11/19 例会変更 ポジションローバー夜間例会  
11/26 大成中学・高等学校インターアクト  
クラブ活動報告

勝家は後出の「二、三の座敷」で二人が持参したシャツ等の贈り物を持って彼らに先立ち奥に入ったり、信長の命で面会後に城内を案内したりしたので、山に登ることを許された「ごくわずかの者」の一人なのでしょう。昼夜を問わず15から20人の「若き貴人」が交代で警備する「一種の堡壘」の下の「大きい入り口」(多分櫓門)からさらに「城に登ると、入り口に続く二、三の大きな座敷」(下台所か)があり、12から15歳の「若き貴人」が100人ほどいた。さらに奥に入るとそこは息子信忠(13歳)、信雄(11歳)の二人と侍女達以外は誰も入ることが許されず、美濃、尾張を見渡せる「縁に面して非常に豪華な座敷があり、すべてが黄金の屏風で飾られ、周囲に二千本ほどの矢が置かれていた」(上台所か天主か)。加納城二の丸に関ヶ原合戦後に廃城とされた岐阜城の金華山山頂の天主を移築したとの伝承がある「御三階」と呼ばれた三重四階櫓があり、享保の頃に雷火で焼けましたが記憶が薄れないうちにと立面図が書き残されています。姫路城天主を造営した池田輝政が岐阜城主の時に建てた天守ではと言いますが信長のいた建物かもしれない。天守に住んでいた殿様は信長だけなのではとも言われます。五重の天主の上り下りは防御を考えて階段は傾斜が急で、エレベーター、エスカレーターは無い。秀吉も大坂城の天守に宣教師から貰ったらしいベッドを持ち込んでいるが天守では生活していない。家康は名古屋城天守を建てる時、急いでもいたのだろうか、内住まいは無用、と指示しています。信長は金華山山頂に居た時と比べたら安土山や五重の天主の上り下りも楽なもの、と思っていたのでしょうか。

### 委員会報告

#### ニコボックス

浅井孝介

☆ 朱宮新治君(犬山RC)

本日は財団月間でお世話になります。よろしくお願ひ致します。

☆ 森 俊夫君

本日地区ロータリー財団委員会の朱宮委員長をお迎えした喜びで。

☆ 鴨下昌充君

11月3日におかげさまで名鉄一宮駅にて開業して満20年を迎えることができました。一宮の皆様へ感謝申し上げます。これからも名鉄百貨店をよろしくお願ひします。

☆ 小川健司君

弊社名鉄西部交通は、去る11月1日に創立60周年を迎える事が出来ました。これもひとえに地域の皆様にお支え頂いたお陰と心より感謝申し上げます。今後も安全運行に徹し信頼のトップブランドを目指してまいります。

☆ 職業奉仕委員会 山田一仁君

職場例会ご参加の皆様一日大変お疲れ様でした。何かとお手間をおかけしました。有難うございました。

☆ 大鹿晃裕君

今月より第2・4水曜日午後8時よりFM一宮にて「びしゅうの放送室」と言う番組がいちい信用金庫さんの提供でスタートします。尾州の特に繊維にかかわる人々にゲストに来てもらいます。是非聞いて下さい。76.5MHZです。宜しくお願いします。

ブラボー！！

☆ 社会奉仕委員長 佐々木久直君

財団卓話に地区ロータリー財団委員会・朱宮新治委員長をお迎えした喜びで。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

今年度の地区補助金事業として11月14日(土)～来年1月31日(日)までイルミネーション期間中、一宮駅西口にイルミネーションと一体の大型スクリーンを設置し、一宮市の「観光・防災情報」と「ロータリー活動のPR」当放映します。一宮駅にお越しの際は是非ご覧になって下さい。

☆ 木村憲彦君 梅谷朋志君

本日、崔小萍さんをお迎えできた喜びで。

☆ 光寄賢一君 柄倉 勲君

今月はロータリー財団月間です。地区ロータリー財団委員会朱宮新治委員長をお迎えしました。後程卓話を頂戴いたします。よろしくお願ひ致します。月初の例会ですので米山奨学生の崔小萍さんをお迎えいたしました。ありがとうございます。

本日も最後までよろしくお願ひ致します。

出席報告

現在の会員数	112名
本日の出席数	75名
前々回の出席率	100%
ビジター出席数	1名

\*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

ロータリー財団月間卓話

朱宮新治君(地区ロータリー財団委員長・犬山RC)

テーマ「ロータリー財団プログラムについて」



ロータリー財団には、地区補助金とグローバル補助金があります。グローバル補助金は、重点分野の範囲内にある奨学金、プロジェクト、職業研修チーム(VTT)のために授与されますが、これらは実施地の地域社会が主導し、その成果が持続可能、測定可能なものでなければならいと定めております。そして戦略的な観点から大きな影響をもたらす、地区やクラブの活動に使用できる補助金で、3万ドル以上で活用できますが、6つの重点分野(次年度からは7つ)のいずれかに該当してはなりません。

○ 重点分野

1. 平和と紛争予防・紛争解決
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 経済と地域社会の発展
7. 環境の保全

申請条件は

1. 持続可能で、補助金の資金が使い尽くされた後にも活動成果を長期的に持続させるための計画があること
2. 測定可能な目標があり、成果をもたらすこと
3. 地域社会のニーズに応えること
4. ロータリアンと地域社会の人々の両方が積極的に参加すること
5. 補助金の「授与と受託の条件」に記載された要件の遵守

6. 6つ(次年度より7つ)の重点分野のいずれかに該当すること

7. 活動が実施される国のクラブまたは地区と、それ以外の国のクラブまたは地区がパートナーとなって提唱すること

8. ロータリーの活動が終了しても、実施地の人々が自力で取り組んでいくことができること(成果の持続)となっております。

グローバル補助金では、WF(国際活動資金)から、DDF(地区活動資金)に対して同額が出ます。プロジェクトの予算は3万ドル以上であることが条件で、WFからの上乗せの下限額は1万5千ドルになります。また実施国と援助国(実施国外)の双方からの代表提唱者(クラブまたは地区)が共同で取り組むことが条件で、両者とも参加資格認定を受ける必要があります。そして様々な活動を支援できますが、提唱者は、補助金の「授与と受託の条件」に記載された要件を順守しなくてはなりません。実施国と援助国の代表提唱者は、それぞれグローバル補助金を担当する3名のロータリアンからなる補助金委員会を設置し、この委員は、代表提唱者クラブの会員(クラブ提唱の場合)、または代表提唱地区の会員(地区提唱の場合)とすることになっております。

注意点として、

1. 申請書への記入が開始されてから12ヵ月以内に、財団へ申請書が提出されなかった場合、申請書は取り消しとなります。
2. 申請書の提出から6ヵ月以内に、申請に必要な情報がすべて提出されず、承認されなかった場合、申請は取り消しになります。
3. 申請書の承認6ヵ月以内に支払い要件が満たされなかった場合、補助金は取り消しとなります。
4. 支払い12ヵ月以内に補助金プロジェクトが実施されなかった場合、補助金は取り消しとなり、提唱者は資金を返還するように義務づけられています。

\* グローバル補助金の流れ

1. 申請

ロータリー財団が申請に必要なすべての情報を受理した時点から承認まで約4週間かかります。

- ① オンラインで補助金を申請(法的同意を含む)
- ② 職員が申請内容を確認(不足情報があれば職員に提出)
- ③ 申請額によっては、二次審査実施
- ④ 提唱者に承認の通知(通知の書簡、支払い方法の連絡)

2. 支払い

ロータリー財団が銀行口座情報、クラブ/地区からの拠出分を受理した時点から、補助金の支払いまで約2~4週間かかります。

- ⑤ 提唱者が銀行口座情報を提出拠出分を支払う
- ⑥ 補助金の支払い(高額の場合は通常、使用計画に従った分割払い)

3. 報告

報告はロータリー財団により受理されてから8週間以内に、先着順で職員が内容を確認。

⑦ 提唱者が補助金終了まで12ヵ月ごとにオンラインで中間報告を提出(最終報告はプロジェクト完了後2ヵ月以内に)

⑧ 職員が報告内容を確認(不足情報があれば職員に提出)

⑨ 適切な最終報告書が受理された時点で、補助金が終了。プロジェクトの完了を伝える書簡がプロジェクト提唱者に送付される。

地区ロータリー財団委員会の任務は、5つの小委員会を統括し、地区内各クラブとのコミュニケーションを良くすることであり、正確な情報の発信に務めてまいります。

地区のホームページに財団に関する情報を載せてありますので随時ご覧になって関心をお寄せ下さい。